ティーチング・ポートフォリオ（教育業績ファイル）

教員氏名	岩部　純子

主な担当科目	バレエ指導法演習③

2025年の教育目標・授業に臨む姿勢	昨年から引き続き上級学年については基礎を重視しつつ更なる技術・表現力の向上を目指し、難易度の高いテクニックも取り入れ単調ならないよう授業を行った。1，2年次については個々の課題を明確に伝え、それぞれが考えて授業を受けられるように配慮した。特に1年次は入学前のレッスン環境に大きな差があるため、劣等感を抱かないよう言葉がけには特に注意して授業に臨んだ。
2025年の教育に関する自己評価	単調な授業にならないように、個々の課題を提示し何に取り組むべきかを明確化することで、それぞれのレベルに合った指導ができた。バレエのクラスは一方通行になりがちだが、こちらから質問をして考える時間を設けるなど、自分で考えて授業に取り組めるようにしたことで、理解が深まったように感じる。

2025年のFD活動に関する自己評価	FD研修会では他コースの先生の取り組みなどを聞ける貴重な機会となっているため積極的に参加している。特に基礎ゼミや芸特分科会FDでは授業内容改善に向け活発な意見交換があり、授業に反映できた部分が多かった。
授業改善のために取り入れた研修内容	先生方から学生の様子などを聞くことで気が付いていなかった学生の悩みを知ることもあり、学習意欲の向上や指導に役立てることができている。第2回全体会のハラスメントについては、意図せず学生を傷つけるような言動がないか、改めて振り返る良い機会となった。

2025 年度（秋学期）「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード：2634　教員名：岩部　純子

1）アンケート結果に対する所見

バレエコースの実技系授業に関しては学生たちの学修意欲の高さが伺えるアンケート結果であった。グループ授業ではあるが、なるべく各々が課題に向き合えるようにきめ細かな指導を心がけたことで、授業へ取り組みやすくなったのではないかと考える。

2）要望への対応・改善方策

特に要望があったわけではないが、引き続き高いレベルで学修意欲を維持できるように注意を払っていきたい。また授業外学修に取り組みやすくするため、学生個々のニーズに合った課題を提示できるようにしたい。

3）今後の課題

バレエコースの学生の中には大学で学ぶうちにバレエダンサーや指導者以外の道を模索する学生も増えてきている。そのような学生がバレエやその周辺の学問を通じて、視野を広く持ち卒業後にも大学での学修が活用できるような指導を心がけたい。

以　上